

# 地域みんなの支えあい

## 災害時要援護者登録制度

平成23年3月に発生した東日本大震災により、みなさんの防災・減災への意識は高くなったと思います。日本全体で経験した教訓を風化させず、万が一、自分たちの身近な場所でも被害が起きてしまったとしても被害を最小限に食い止める取り組みを考えていきましょう。

● 認知症やねたきりの高齢者などで、民生委員などの見守りが必要な方  
● 障がいをお持ちの方で、支援が必要な方

### 登録する情報の内容

開成町では、災害時要援護者登録を行っています。避難するにあたって支援が必要な高齢者や障がいをお持ちの方などを把握し、自治会や福祉の関係機関、行政とで情報を共有し、発災時の支援に活用していく制度です。

登録には、本人の同意を必要としています。個人情報への意識の高まりに伴い、要援護者情報の共有・活用が困難な場合があるからです。登録された個人情報、災害時の支援のために自治会関係者や民生委員など複数の関係者が共有することになります。

### ● 対象となる方は？

● ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、日常的に近隣の方や民生委員などの支援が必要な方

### ● 大規模災害が発生したら？

まず自分の身の安全を第一に確保してください。逃げ遅れ、閉じ込められてしまった場合、命の猶予は一般に72時間と言われています。

### ● 登録しましょう！

町では平成24年4月1日現在で407名の方が登録されています。さらに制度を充実させていくために、6月を強

大規模災害発生の初期期には、自主防災会が中心となり地域の被災状況に応じた救援活動を行います。それと同時に、自治会福祉部や支援者が中心となり、登録者の安否確認や避難誘導を行います。民生委員は福祉部活動に協力するとともに、要援護者の安否確認を行います。

町や社会福祉協議会は災害対策体制を立ち上げた後、要援護者拠点施設（福祉会館）の運営と登録者以外の安否確認などを実施します。

自力で指定の広域避難所に避難することに不安がある方は登録制度をご活用ください。



### ● 自治会あげでの取り組み

東日本大震災の経験を教訓として、自助・共助の精神が重要視されてきました。

毎年9月に実施する防災訓練では、この登録制度をもとに対象者の地域での避難誘導訓練や災害時要援護者拠点施設である福祉会館への避難誘導訓練を実施しています。この制度を充実させていくためには、日常生活における声かけや見守りが何よりたいせつです。

また、この制度を日ごろの

化月間と位置づけています。自治会の福祉部や防災部、民生委員などが対象となる方を戸別訪問し、登録者情報の更新や新規登録者の把握などに取り組んでいます。

登録を希望される方は、お気軽に自治会や民生委員、役場などにお声をかけてください。



避難誘導訓練の様子

福祉課 ☎ 84-0316



# 子育てポイント 98

## Q 絵本に親子で楽しめるポイントはありますか。

A 二、三歳児は空想の世界が大好きです。ごっこ遊びもそうですが、絵本やお話で体験する世界はよりいっそうイメージをふくらませることが出来ます。

中には、絵本などにあまり興味を示さない子もいますが、折に触れて絵本の楽しさを紹介してあげましょう。

例えば、寝る前のリラックステキな時間にお母さんの選んだ本や、子どもが興味を持っている乗り物や昆虫、キャラクターの本などを読んであげようようにします。そうすることにより、だんだんと絵本に親しみが持てるようになってきます。スキンシップにもなり、親子の絆が深まります。



こうしてお気に入りの本ができる、同じ物ばかり読んでほしいと持ってくる子もいますが「またこれなの？」と言わずに心を込めて読んであげましょう。

子どもは一字一句を覚えていて、その繰り返しを楽しんでいるのです。

### ● 開成町立開成幼稚園

☎ 82-4247  
のびのび子育てルーム  
☎ 83-4198

## 私

は、開成南小学校の園芸委員会にかかわり三年目を迎えます。子どもたちと共に花いっぱい学校のしように活動を続けてきました。その様子を紹介したいと思

### 一

年目は、花壇の整備から始めました。本校の花壇の地中には大きな石が多数混じり、いくら掘っても次から次へと石が出てきました。そこで、委員会活動を通して少しずつ整備をしてきました。子どもたちと、たくさん石を花壇の中から取り除き、石を山のように積みあげました。取り除いた石は、二年目に石の小路に再利用しました。正門横の花壇の中にあるベンチまで、約四メートルの間に石を敷き詰めました。子どもたちは、この小路が何十年も本校に残ってほしいという期待で胸をふくらませていました。

### 昨

年度は、クラス五鉢運動を行いました。園芸委員会が中心となり、各クラスにマリーゴールドの苗を五鉢ずつ世話をしてもらうことを呼びかけました。全校を巻



開成南小学校教諭 福留 全人

き込んで、植物をたいせつにしようとする意識を高めようと企画・実施しました。苗の移植からクラスにお願ひし、毎日の水やりなど、クラスの中で当番を決めて世話をすること、多くの子どもたちがかわることができました。今年度も継続してクラス五鉢運動を実施する予定です。

### こ

れからも保護者・地域の方の協力をいただきながら子どもたちと一緒に活動し、少しずつ花いっぱいの学校に近付けていきたいです。

